

ラ・ボエーム

【曲】C・アズナブル

□□□□

君に語ろう 笑いに満ちた青春の日々を
モンマルトルの屋根裏部屋 そこで二人は
愛し合って暮らしていた 貧しいながらも
リラの花は春の風に溢れていた
ラ・ボエーム ラ・ボエーム 幸せな日々よ
ラ・ボエーム ラ・ボエーム さすらいの日々よ

カフェの隅で 仲間たちと議論をかわし
今思えば 若さゆえに許される
無茶な日々を過ごしたけど 僕らの心は
輝く未来と見果てぬ夢に溢れていた
ラ・ボエーム ラ・ボエーム 青春の歌よ
ラ・ボエーム ラ・ボエーム さすらいの歌よ

思いだす キャンパスを前に君をモデルに
腰の線や胸の起伏に 筆を加え
夜を明かし 熱いカフェに疲れをいやして
いだき合った冬の夜の あのこと
ラ・ボエーム ラ・ボエーム きれいだっただ君よ
ラ・ボエーム ラ・ボエーム はたちのあの日よ

ある日のこと 訪ねてみた懐かしの街を
石段を登る足もなえて 青春を
過ごしたカフェも あの壁も あの部屋もなく
モンマルトルはなぜか淋しく リラも枯れた
ラ・ボエーム ラ・ボエーム 帰らない夢よ
ラ・ボエーム ラ・ボエーム つかの間の夢よ

ラ・ボエーム

【曲】C・アズナブール

□□□■

1. 君に語ろう
笑いに満ちた
青春の日々を
モンマルトルの
屋根裏部屋
そこで二人は
愛し合って暮らしていた
貧しいながらも
リラの花は春の風に
溢れていた
ラ・ボエーム
ラ・ボエーム
幸せな日々よ
ラ・ボエーム
さすらいの日々よ



モンマルトル

ラ・ボエーム

【曲】C・アズナブル



2.

カフェの隅で 仲間たちと
議論をかわし 今思えば
若さゆえに 許される
無茶な日々を過ごしたけど
僕らの心は
輝く未来と見果てぬ夢に
溢れていた
ラ・ボエーム ラ・ボエーム
青春の歌よ
ラ・ボエーム ラ・ボエーム
さすらいの歌よ

ラ・ボエーム

【曲】C・アズナブル

□■□■

3.
思いだす キャンパスを前に
君をモデルに 腰の線や
胸の起伏に 筆を加え
夜を明かし 熱い力フエに
疲れをいやして
いだき合った冬の夜の
あの日のこと
ラ・ボエーム ラ・ボエーム
きれいだっただ君よ
ラ・ボエーム ラ・ボエーム
はたちのあの日よ

ラ・ボエーム

【曲】C・アズナブール

4. ある日のこと
訪ねてみた
懐かしの街を
石段を登る
足もなえて
青春を
過ぎたカフェも
あの壁も
あの部屋もなく
モンマルトルはなぜか淋しく
リラも枯れた
ラ・ボエーム
帰らない夢よ
ラ・ボエーム
つかの間の夢よ
ラ・ボエーム

End



秋のモンマルトル(油絵)

ラ・ボエーム

【曲】C・アズナブル
【訳】なかにし礼

うう若影尋あ ・・きさねる ボボ日えて日 エエ々なみの 一一のくたこ ムム靴と の歩リ うう音きう君 ・・は慣もと ボボれ枯僕 エエ聞たれの 一一こ道て愛 ムムえも な消ア街 い帰かえパ角 ちらってル まなたたト ついの夢 の夢よ	うう愛飲夜君 ・・しんをの ボボ合で明胸 エエえ語かや 一一ばりし腰 ムム感の じ夢朝線 ううなをにを ・・い見な ボボさたる描 エエよとい 一一冬て ムムの愛コは 寒の消 は青さ眠ヒし か春のうた なくうた 美たよ しわし	うう望ボ夢空 ・・みー見い ボボにドてた エエあしい腹 一一ふーたを ムムれル抱 たや仲え うう間な ・・君べたが ボボとルちら エエ僕しと 一一のー虹 ムム又力の 二のフ訪 夢心十エれ 見一歳詩の るつのを隅 さで頃読で すらいんで いた	うう愛絵リモ ・・しをラン ボボ合描のマ エエつい花ル 一一たてよト ムムい 君た愛の ううとのア ・・僕愛部パ ボボのし屋ル エエいでト 一一二人マ ムム十僕ン 歳君はの 根幸のをい のせ頃モつ窓 ない夢デも辺 草よルに開 花
---	--	---	--

ラ・ボエーム

【曲】C・アズナブール
【訳】なかにし礼

1. モンマルトルの
アパルトマンの
窓辺に開く
リラの花
愛の部屋で
僕はいつも
絵を描いて
君をモデル
愛し合った
二十歳の頃
ラ・ボエーム
幸せの夢よ
ラ・ボエーム
根のない草花
ラ・ボエーム

愛しい人
君と僕の



モンマルトル

ラ・ボエーム

【曲】C・アズナブル
【訳】なかにし礼

2.

空いた腹を抱えながら

虹の訪れ

夢見ていた 仲間たちと

カフエの隅で

ボードレールや

ベルレーヌの

詩を読んでいた

望みにあふれた

君と僕の二十歳の頃

ラ・ボエーム ラ・ボエーム

心一つで

ラ・ボエーム ラ・ボエーム

夢見るさすらい

ラ・ボエーム

【曲】C・アズナブル
【訳】なかにし 礼

3.

君の胸はや腰の線を
描いては消して

夜を明かして
朝にならんと

コヒナなど

飲んで語りなど
夢を見たよ

愛の眠りのは
愛の合えは
冬の寒さは
感じないさ

ラ・ボエーム
ラ・ボエーム

青春のうたよ
ラ・ボエーム

はかなく
美しく

ラ・ボエーム

【曲】C・アズナブール
【訳】なかにし礼

4.

ある日のこと

君と僕の愛の街角

尋ねてみた

リウも枯れて

アパルトマンの

影さえなく

歩き慣れた道も消えてた

若き日々の靴の音は

聞こえなかった

ラ・ボエーム

帰らない夢よ

ラ・ボエーム

いちまつの夢よ

秋のモンマルトル(油絵)



End